

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	S.I.C.KIDS東海校		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日		～ 2025年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 6人	(回答者数) 4人	
○従業者評価実施期間	2025年 3月 10日		～ 2025年 3月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6人	(回答者数) 6人	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・1対1のマンツーマンで支援を行っており、集団が苦手なお子様・集団が苦手ではないお子様にもしっかり向き合って支援が行えている事。	・職員が一人のお子様じっくり関わる事で、日々のお子様の様子の変化や成長を見ることが出来て、支援に反映しています。	・1対1の支援で得られた情報を支援記録に分かりやすく落とし込み個別支援計画や直接支援により活かせるように、記録の工夫を行っています。
2	・原始反射の統合を目指した専門的支援が受けられる事。	・お子様や保護者様のニーズをしっかり把握して、お子様に合うプログラムをご提供しています。	・基本のプログラムを大事にしながら、新しい療育の提案やS.I.Cで共有された新しい療育を取り入れていきます。
3	・学習療育と運動療育の2つの支援を選んで受けられる事。	・お子様の希望と保護者様のご希望を伺いながら、どのような支援を行えばお子様の成長をより促す事が出来るか一緒に考えて療育の提供を行っております。	・新しい教材やお子様にあった支援方法をご提供できるように内部・外部を問わず研修に参加してステップアップを行っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・面談などでご家族のお話は聞いているが、家族支援が不十分な所。	・個別支援計画のモニタリングや保護者様がお困りの際に面談の機会を作っているが、お時間内では伝えきれない所や実際にどのように対応すればいいか等のお話まで出来ない事がある。	・保護者様がどのような事で悩まれることが多いか事前にアンケートなどで具体的なお困りごとの把握をしてその内容に沿ったお話が出来るイベント等を企画する。
2	・集団での支援が行えない事。集団生活の様子をほとんど把握できていない事。	・個別支援を行う事業所として支援を展開しているので、集団支援を行う事が難しい。	・集団支援を行う事は事業所として難しいが、集団生活での様子を学校や他事業所での様子を見せていただく事により、集団でのご本人の様子を確認する。
3	・待合室がなく、玄関先で保護者様にお待ちいただいている事。	・建物の構造上、玄関をあがったすぐがもう療育の場になっている。	・保護者様に伝える支援の内容をアプリを導入する事により短縮を図っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 S.I.C.KIDS東海校

公表日 2025年 4月 28日

利用児童数 2025年 3月 1日 6人

回収数

4枚

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	1				限られたスペースを活用できるように工夫しております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4					適切に人員を配置しております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	2				タイムタイマー、見出しポケットの活用など特性に応じた配慮を心がけております。2階に事業所があるためバリアフリーが困難な所もありますが、お怪我のないよう配慮しております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4					気持ちよくご利用頂くために毎日清掃を欠かさずおこなっております。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4					保護者様と面談を行い、ニーズを把握しながら計画を作成しております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4					公表している支援プログラムに則り支援のご提供をさせて頂いております。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					日々の支援の中のお子様のご様子や状態を把握したうえで、モニタリング面談で保護者様とお話をさせて頂きながら児童発達支援計画を作成しております。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					5領域に沿って支援計画や支援内容を設定しております。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					計画に沿って支援を提供しております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4					職員が日々の支援内容を工夫しております。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1		2		S.I.C.KIDS本部協賛のファミフェスをご案内して機会の提供を行っております。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					ご利用開始前に面談の中でご説明させて頂きました。今後も変更があれば、その都度説明を行っていきます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					児童発達支援計画を保護者様に確認頂きながら支援内容の説明を行い、同意をいただきました。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	1	1	1		ご家族でも参加できる研修会などのご案内をLINEや事業所に掲示することで、保護者様にお伝えしております。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4					日々の支援をお伝えする中で、課題等をお互いの理解を深めております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3	1				定期的に面談を実施しております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					お子様や保護者様に対して、お話を伺いながら共感的に支援できるよう意識しながら支援をしております。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。		1		3		イベント等企画して交流の機会を設けていきます。
19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4					定期的な面談以外に事業所からもご家族の様子を見届けて、面談のお声がけを行っております。	
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					お子様や保護者様に伝わりやすいよう必要に応じて、プリントの大きさや明るさ・配色など配慮しております。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4				ホームページやInstagram等で活動概要など発信することを心がけております。お便りを定期的に作成して、事業所に掲示しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4				事業所の書庫に保管する等、個人情報の取り扱いには十分注意しております。今後も個人情報の取り扱いには細心の注意を払います。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3			1	各種マニュアルを作成しております。今後も各種マニュアルについて、保護者様に分かりやすいように周知・説明を行ってまいります。定期的に訓練を実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			1	定期的に水消火器を使用するの消火訓練や避難訓練などの防災訓練を実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3			1	安全の確保のため不審者対応の研修などを行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3			1	怪我が生じた際は、すぐ保護者様にご連絡させて頂いております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4				事業所のご利用に際して、安心してご利用させて頂いております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4				お子様が楽しめるプログラムなど工夫して提供しております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	4				お子様や保護者様にご満足頂けるように、日々支援を工夫しております。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		S.I.C.KIDS東海校		公表日 2025年 4月 28日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		限られた空間を活かして支援を提供しております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準を満たした人員配置をしております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	タイムタイマーや見通しポケットの活用、ホワイトボードを利用してご利用者に分かりやすく視覚情報を提示するなどしております。	2階に事務所があるため、バリアフリーが困難な所があります。雪の日は滑りやすいので、事前に雪をのけております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎朝清掃を行い気持ちよくご利用頂けるよう心掛けています。毎月、衛生担当を決めて普段掃除しない所も清掃しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		学習支援では、個別に部屋を使用しております。運動支援では、学習支援で使用していないスペースを活用しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		全体会議を通じて事業所の課題などをあげて計画的に改善しております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		事業所評価を実施して、保護者様からの意向を把握して、業務改善に繋げております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		全体会議を行い、職員が気になっている所などを議題にあげてもらい、業務改善に繋げております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価は実施しておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的なS.I.C.KIDS本部の研修や外部の研修の案内を行い研修を受講する機会を作っております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		お子様一人一人に合わせたプログラムを作成しております。プログラムはHPを通じて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		日々の様子や保護者様から伺った様子など総合的にアセスメントを実施しております。お子様と保護者様のニーズを把握して事業所から見たお子様の課題などを分析して個別支援計画を作成しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		事前に職員とも個別支援計画のすり合わせを行い、お子様の成長を促すにはどのような計画がよいか検討しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		全体会議で個別支援計画の共有を行い、計画に沿った支援を展開しております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		バインランド適応行動尺度や原始反射チェックシート等を活用しています。日々のお子様の行動をよく観察して確認しております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		5領域にわたり支援内容が設定されています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○	個々で考えたプログラムを必要に応じて全体会議などで擦り合わせを行っております。	全体会議でプログラムの提案など積極的に行っていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		お子様一人一人に合わせたプログラムを作成して、内容が偏り過ぎないように工夫しております。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	個別支援のみの事業所となっているので、個別活動中心の計画になっております。	集団活動に課題のあるお子様に対しては、他の事業所の併用利用などを提案しております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	毎朝のミーティングや全体会議で打ち合わせなど行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	支援終了後は行っておらず、毎朝のミーティングで共有しています。	緊急性の高いものに関しては、その日に共有を行い、休みの職員に対しては申し送りノートを活用しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	日々の支援の記録を残し、個別支援計画に紐づけされているか、お子様の成長を促しているか検証しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	定期的にモニタリングを行いながら、お子様の状況によりモニタリング時期を調整しております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	児童発達支援管理責任者が会議に出席しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	地域の保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関との連携についてはまだ不十分さがあります。	お子様の進学の時期に合わせて連携を行います。日々の様子で気になる所があれば、関係機関との連携を行っています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	関係機関との支援内容等の情報共有に関しては、まだ不十分さがあります。	積極的に情報共有や相互理解を図っていくように関係機関との繋がりを密にしていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	保護者様とは支援内容の共有や進学にあたり気になる点など共有しております。	事業所での取り組みや今後課題となるものなど関係機関と情報共有と相互理解を深めています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	児童発達支援センターの連携は行えておりません。児童発達支援センターからの研修のご案内などは頂いております。	研修の参加だけではなく、高い専門性が必要になる支援については専門機関と連携を図っていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	地域交流の一環として、S.I.C.KIDS本部協賛のファミフェスをご案内しております。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	日頃から保護者様とコミュニケーションを図り、共通理解を深めております。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	外部からの保護者向けのイベントや研修会の情報提供を行っています。		
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約の際丁寧に保護者様にご説明しております。変更が生じた場合も保護者様にきちんと説明させて頂いております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	面談や日々の支援の関わりの中で、お子様やご家族の意向を確認しております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○	作成した個別支援計画を元に保護者様に説明をして同意を得ております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	必要に応じて面談の声かけを行っております。日々の支援の振り返りをお伝えする際にご家族の状況を把握できるように務めております。	

護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	父母の会の支援は行えておりませんが、イベントなど企画をしております。	保護者様が参加しやすいイベントや色々なお話が出来る場を提供できるように考えていきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	お子様や保護者様から相談の申し入れがあった場合は、早急に対応できるようにしております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	定期的にお便りを発行して、事業所に掲示しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人情報の取り扱いには十分留意して取り扱いは行ってあります。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	お子様との意思疎通については絵カードや手話・ジェスチャーなどお子様に合わせた配慮を行っております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	インスタグラムを利用して、事業所の取り組みなどを紹介して広く事業所運営に興味を持っていただけるように発信しております。	事業所の行事に地域住民の方が参加出来る形は出来ていないので、違う形で地域に開かれた事業所運営を検討したいです。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	各種マニュアルを作成して、定期的に訓練を実施しております。実施した訓練に関してはSNSを通じて発信しております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	BCPを策定しております。定期的に災害に備えた訓練を実施しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	事前に保護者様から服薬状況など確認させて頂いております。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	お子様におやつを提供してはませんが、イベントでお菓子を渡す際は事前に保護者に確認しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画を作成し、必要に応じた研修や訓練も実施しております。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	インスタグラムを利用して、安全確保に関する事業所の取り組みなどを保護者様に発信しております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	職員からあがったヒヤリハットについては、全体会議を通じて共有を行い、同じような事故が起こらないよう対策しております。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	虐待防止に関する研修を定期的に行い、適切な対応を行っております。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	身体拘束適正化委員会を通じて、組織的に決定を行い、身体拘束を行う可能性のあるお子様に対しては、個別支援計画にその旨を盛り込んで保護者様から同意をいただいております。		